

## 町民アンケートの結果について

### 調査の概要

- 1 目的  
本調査は「北栄町まちづくりビジョン(仮称)」の策定にあたり、町民意向を反映させるために実施したものです。
- 2 調査の方法  
町民については、本町に在住している20歳以上の方を対象に、住民基本台帳(基準日:7月1日)から無作為抽出で対象者1,000人を選び、郵送により調査を実施しました。中学生については、町内の中学校の協力を得て、中学2年生の生徒を対象に学校を通じて調査を実施しました。
- 3 調査の期間  
平成21年7月～8月
- 4 回収状況  
回収状況は次表のとおりです。

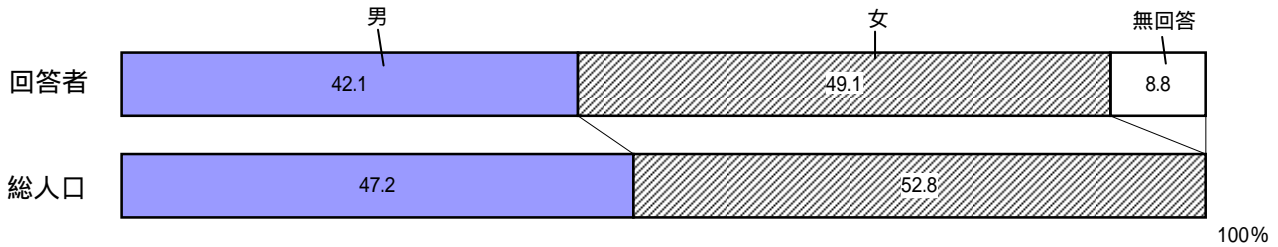
	送付数	回答数	回収率	構成比
20歳代	180	50	27.8%	12.3%
30歳代	180	61	33.9%	15.0%
40歳代	180	46	25.6%	11.3%
50歳代	180	74	41.1%	18.1%
60歳代	180	85	47.2%	20.9%
70歳以上	100	79	79.0%	19.4%
不明		12		3.0%
合計	1,000	407	40.7%	100.0%

	送付数	回答数	回収率	構成比
中学生	143	126	88.1%	

## 回答者

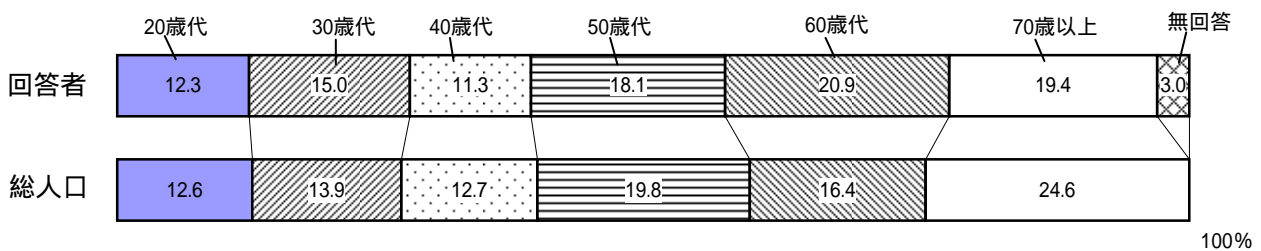
性別(町:問9 - 1)

回答者の性別は、「男」42.1%、「女」49.1%です。町の総人口(20歳以上)の性別構成と比較すると、「無回答」8.8%があるため男女ともに低い割合になっています。



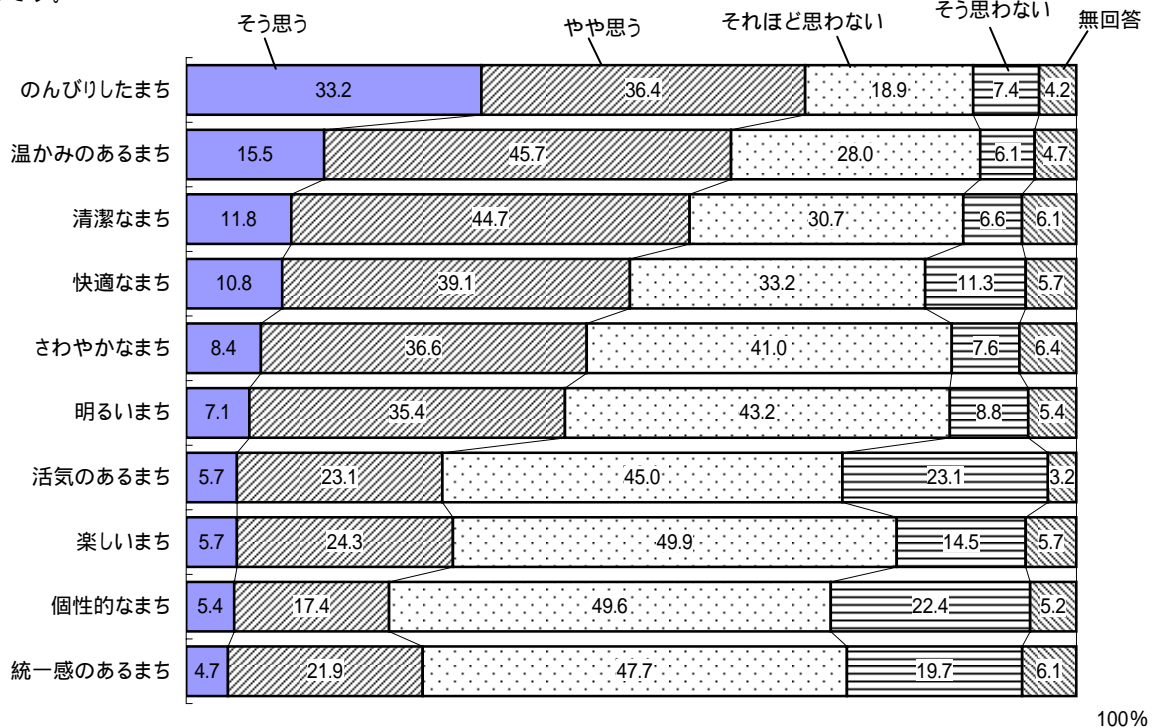
年齢(町:問9 - 2)

回答者の年齢は、「20歳代」12.3%、「30歳代」15.0%、「40歳代」11.3%、「50歳代」18.1%、「60歳代」20.9%、「70歳以上」19.4%です。町の総人口(20歳以上)の年齢構成と比較すると、「20歳代」ではほぼ同じ割合で、「40歳代」「50歳代」「70歳以上」で低く、「30歳代」「60歳代」が高くなっています。



## 北栄町のイメージ(町:問1)

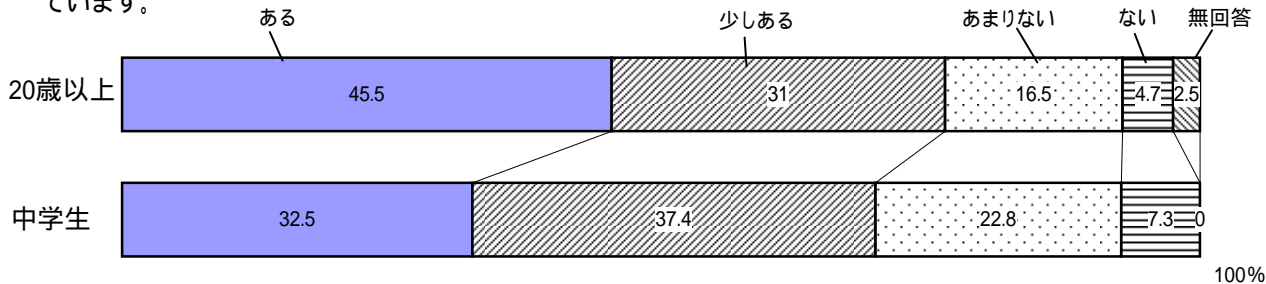
北栄町に対するイメージについて、「そう思う」が高いのは、「のんびりしたまち」33.2%が突出して高く、ほかは10%前後で並んでいます。一方、「そう思わない」が高いのは「活気のあるまち」23.1%、「個性的なまち」22.4%などです。



100%

## 北栄町に対する愛着(町:問2 - 1 中:問2 - 1)

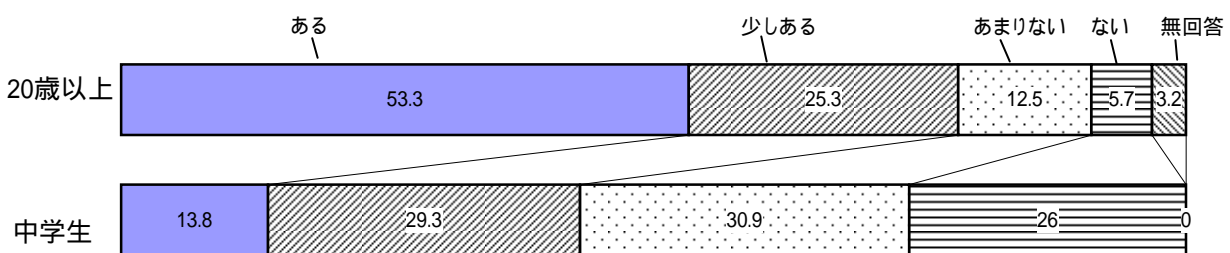
北栄町に対する愛着を見ると、「ある」と「少しある」をあわせると76.5%で、愛着があると思う人の割合が高くなっています。



100%

## 定住希望(町:問2 - 2 中:問2 - 2)

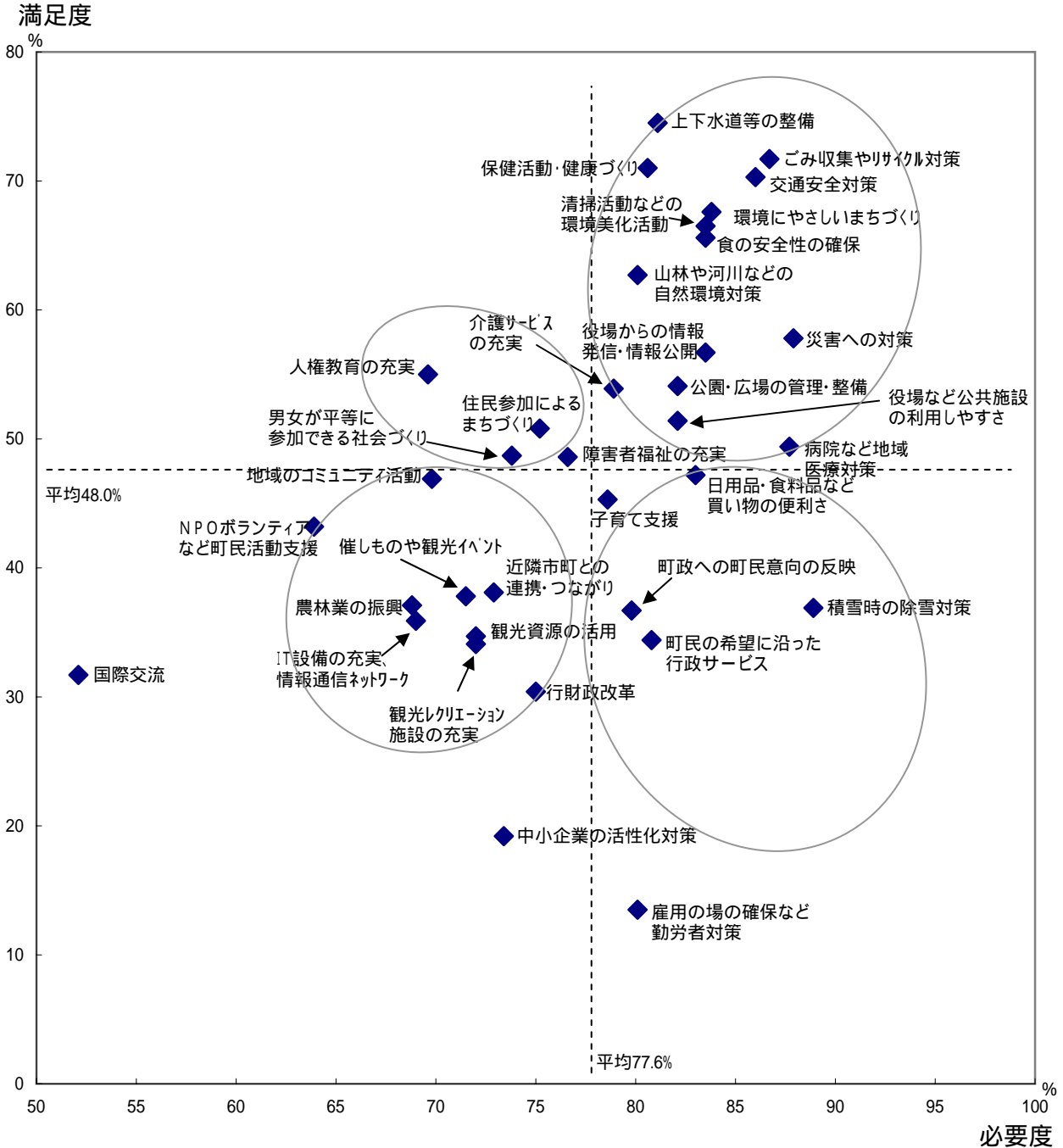
将来への定住希望は、「ある」と「少しある」をあわせると78.6%で将来も住みたいと思う人の割合が高くなっているのに対し、中学生では、「ある」13.8%、「少しある」29.3%と低く、大きな差が見られます。



100%

### 各分野についての満足度と必要度(町:問3)

各分野についての取り組みに対する満足度・必要度がともに高い「上下水道等の整備」「ごみ収集やリサイクル対策」「保健活動・健康づくり」「交通安全対策」など、満足度が低くて必要度が高い「雇用の場の確保など勤労者対策」「町民の希望に沿った行政サービス」「町政への町民意向の反映」など、満足度は高いものの必要度が低い「人権教育の充実」「男女が平等に参加できる社会づくり」など、満足度・必要度がともに低い「国際交流」「中小企業の活性化対策」など、4つのタイプに分類できます。

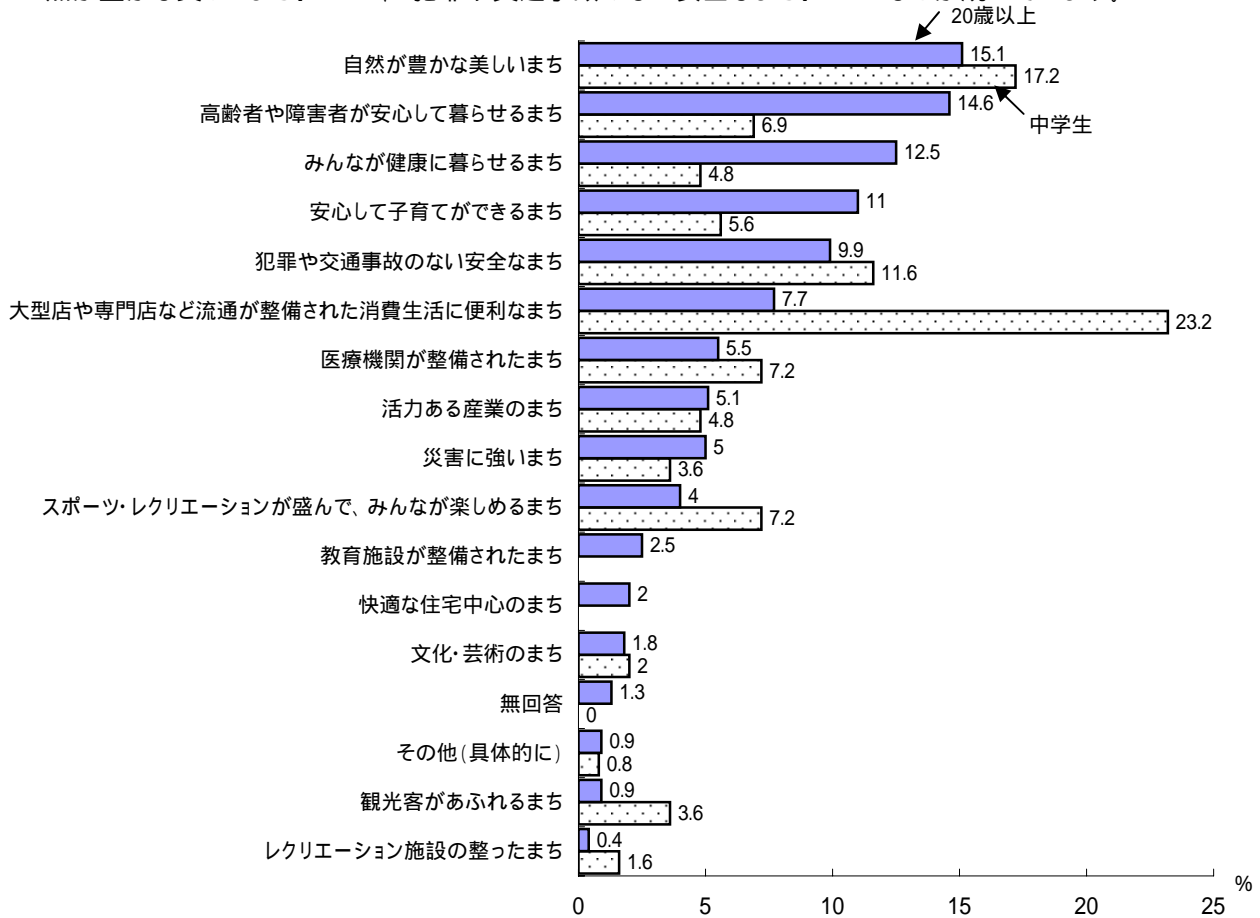


#### 満足度 - 必要度散布図の見方

縦軸が満足度、横軸が必要度であり、それぞれ数値が高いほど満足度または必要度が高いことを表しています。  
 満足度:「充分満足」「まあ満足」と答えた人の割合  
 必要度:「非常に必要」「必要」と答えた人の割合

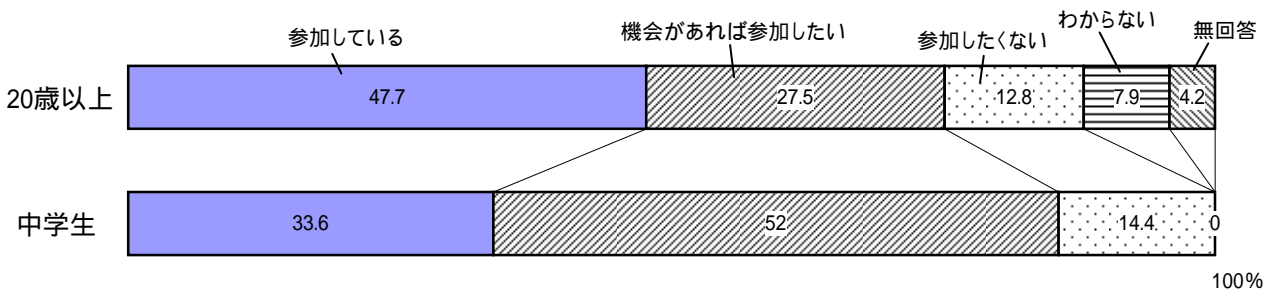
## 将来住みたい町(町:問5 中:問4)

将来どのような北栄町に住みたいかについては、「自然が豊かな美しいまち」が15.1%と最も高く、次いで「高齢者や障害者が安心して暮らせるまち」14.6%、「みんなが健康に暮らせるまち」12.5%などとなっています。  
一方中学生は「大型店や専門店など流通が整備された消費生活に便利なまち」23.2%が最も高く、次いで、「自然が豊かな美しいまち」17.2%、「犯罪や交通事故のない安全なまち」11.6%などが続いています。



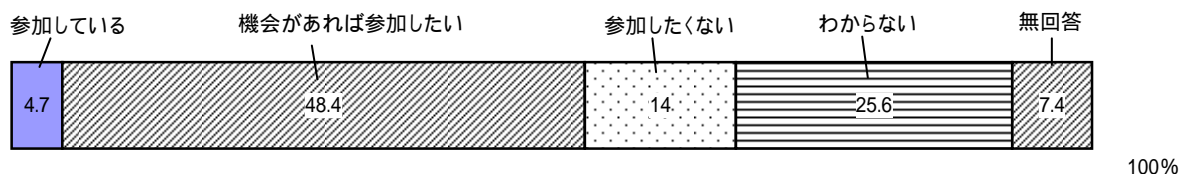
## 地域活動への参加(町:問7 - 1 中:問5 - 1)

日ごろの地域活動への参加状況は「参加している」47.7%、「機会があれば参加したい」27.5%と高い割合になっています。  
中学生では、「参加している」33.6%に対し、「機会があれば参加したい」が52%となっており、参加意欲が見られます。



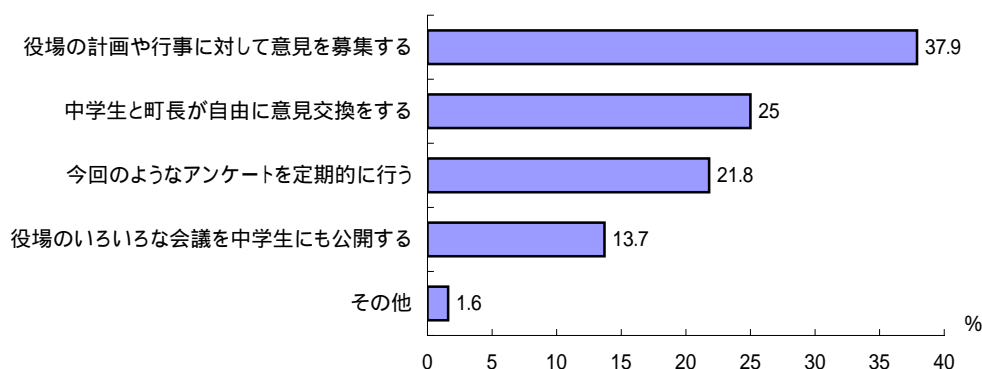
### まちづくりへの参加(町:問7 - 3)

まちの計画やまちづくりへの参加状況と参加意向は、「参加している」4.7%、「機会があれば参加したい」48.4%と約半数がまちづくりへの参加に意欲的です。



### (中:問6)

中学生の意見をこれからのまちづくりに取り入れていくためには、「役場の計画や行事に対して意見を募集する」37.9%が高く、「中学生と町長(または役場の職員)が自由に意見交換をする」25%、「今回のようなアンケートを定期的に行う」21.8%と続いています。



### 行政サービスと負担(町:問8)

行政サービスと負担については、「負担の増加を抑えるため、サービスを維持する分野と減らす分野のメリハリをつけるべき」61.4%が突出して高くなっています。

